

大雪山(旭岳)～トムラウシ縦走(テント2泊)と十勝岳日帰りピストン

2021年7月22日～25日

7/22

AM6:00に大雪山旭岳ロープウェイ乗車、あっという間に姿見駅到着

6:20頃姿見駅から本日の白地である白雲岳避難小屋(テン場)に向けて歩き出した。

駅のそばからお花畑が続く、チングルマがいっぱい。

満開状態の花だけでなく綿毛になっているチングルマも。

白いチングルマの中にピンクのチングルマも数株あった。



これはタテヤマチングルマという名前でなかなか珍しいお花だった。

お花畑を過ぎてから本格的な縦走が始まる。

お花畑近辺は標高700m程度であるが旭岳頂上の2,290mへ向けて一気に登りだす。

重たい荷物(約17kg)を背負って標高差約1,600mはきついが何とか2時間程度で登り切った。

(縦走時3日間の天候は快晴で気温も北海道各地で記録を塗り替える猛暑なので水は欠かすことが出来ないのも毎日のスタート時には3リッターはザックに確保していた。)

せっかく登ったのに縦走路は標高差200mほどの急な下りになるが前半は火山特有のザレザレ斜面ですぐに足を取られてしまう。

ザレば過ぎると後半は長い雪渓があり、気温も上昇してきているので柔らかくなっていてもよく滑る。

ここから多少のアップダウンを繰り返しながら間宮岳・荒井岳・松田岳を超えてトムラウシへの分岐点になる北海岳に到着。

北海岳からトムラウシ方面の眺めはすばらしい。

ここから大雪山を離れてトムラウシへ向かう。

北海岳からは若干下り基調なので歩くのは多少楽になった。

1時間半程度で白雲岳分岐に到着。

ここで一旦ザックをデポって水とカメラだけ持って白雲岳へピストン。

重たいザックが無くなり背中に羽が生えたように軽く感じてしまう。

途中の岩場でナキウサギの声を聞くが姿は見えなかった。

40分程度で白雲岳山頂到着、ここからトムラウシ方面への眺めが雪溪の白と植生の緑がゼブラ模様になって見ていて飽きない。
あまり長居もできないので引き返す。
デポしたザックを担ぎなおすと重さが堪えるがテン場までもう少し(下り40分程度)なので頑張ろう。



14時過ぎにテン場(白雲岳避難小屋)到着さっそく設営し夕食とする。連休という事もあり避難小屋は超満員であったがテン場はそれなりの余裕があった。

テン場に水場は有るが雪解水なのでキタキツネの持っている病原菌(エキノコックス)汚染の可能性があるため原則煮沸して飲食

に使う事が推奨されている。

ここで役立ったのがソーヤー・ミニという浄水器。

コンパクトであるが殆どの病原菌や汚れをあっという間に除去してくれて雪解けの冷たい水が冷たくておいしい水としてそのまま飲める。

テン場の登山者の殆どが使っていた。

長い縦走では荷物を極力軽くしたいので嗜好品であるビールは重たすぎていわゆる燃費も悪い(笑)ので、もっぱらペットボトルに詰め替えたウイスキーを愛用しているのだが浄水器を使うと冷たい水で美味しい水割りが飲めるもの利点。

仲間とワイワイ言いながら夕食タイムを過ごし19時就寝

本日の行動記録

姿見駅06:19 姿見の池06:47 金庫岩08:23 旭岳08:55 間宮岳分岐10:05 北海岳11:14 白雲岳13:12 白雲岳避難小屋14:06

歩行時間: 7時間54分(休憩含む) 、歩行距離: 14.86km

最高点の標高: 2290m、最低点の標高: 1596m

累積標高(上り): 1332m、累積標高(下り): 939m

7/23

4時起床、朝食、テント撤収後5時18分スタート

テン場からはるか向こうに忠別岳が見えるが今日のテン場(ヒサゴ沼)はそのまた向こう。

食料を1日分消費したので多少はザックが軽くなっ

ているはずだがやはり思い、頑張って歩こう！

テン場から忠別岳手前の忠別沼までゆるい下りが
続き眺めがとても良い。

奥に見えるのがトムラウシ

縦走路沿いにはチングルマ、ワタスゲ、コマク
サ、キバナシャクナゲがあちらこちらに群生を成
していてこれでもか！というぐらいの花を見せて
くれた。



途中のチングルマ群生地では最初は満開の白い花、
毛が筆先のように出来て、最後は開ききった綿毛、

その次は少し花弁が散りだし、そして綿
このような四変化がたった100mくらい歩
くだけで観測できたのには驚いた。

チングルマの群生が多く「チングルマ祭
り」状態の縦走路だった。



忠別沼からはアップダウンの連続で忠別
岳・五色岳・化雲岳と続く。

化雲岳からはヒサゴ沼テン場まで下る。

13時過ぎにテン場到着。

テン場は沼のすぐ横にあるがここもテント
がいっぱいでどんどん隙間が埋まってゆ
く。

ヒサゴ沼は半分が雪渓に囲まれた状態で
モヤがよく発生しているのでテントは結露す
る可能性がある。

今日もメンバーとワイワイしながら夕食
タイムを過ごし19時就寝。



本日の行動記録

白雲岳避難小屋05:20 忠別沼08:39 忠別岳09:02 五色岳11:17 化雲岳12:33 ヒサゴ沼避難小屋13:15

歩行時間: 7時間57分、歩行距離: 18.64km

最高点の標高: 1997m、最低点の標高: 1689m

累積標高(上り): 828m、累積標高(下り): 1130m

7/24

4時起床、テントのフライシートは結露でびしょり濡れている。インナーまでは蒸れなかったが幸い。

とりあえずタオルで結露をふき取るが乾かすことが出来ないので撤収したテントは重い。

5時過ぎにスタート、ヒサゴ沼の雪渓をトラバースしその後稜線へ上がるがここで足を滑らすとヒサゴ沼へドボンするので慎重にすすむ。

稜線に上がると岩稜地帯になり「日本庭園」「ロックガーデン」という名前のついた景勝地を過ぎて今回の目的地トムラウシに到着。

「やっと来た～、遠かった～」が第一印象、しかしここでホットしている時間はない。ヒサゴ沼から4時間で山頂まできたがここから下山口まで5時間標高差1000mを下らないといけない。

「トムラウシ公園」あたりでナキウサギの声が近くに聞こえたので周りを見渡すと岩の上にナキウサギが！写真を撮ろうとした瞬間に岩陰に隠れてしまった。

「前トム平に到着、ここまでは比較的緩やかな下りであったが、ここからこまどり沢への下りは等高線が密になっているので結構きつかった。

このあたりから森林限界の下になって樹林帯が続く

こまどり沢は数百メートルの雪渓が続いている。雪渓が終わり少し登山道を歩くと標高差150mくらいのきつい九十九折れの急登。

汗をふきふき尾根にあがる。

ここから下山口(トムラウシ短縮登山口)までは樹林帯の尾根をずっと下ることになるが樹々に覆われて風があまりなく暑かった。

14時過ぎやっと到着、達成感が半端なかった。

もうこれ以上歩かなくていいと思うと3日間のしんどかった思いも吹っ飛んだ。

実際は明日も十勝岳登るんですがどうでもいい感じ(笑)

車で本日のお宿(十勝岳近くの旅館)まで移動し温泉で3日分の汗を流し美味しいものを食べてお布団でぐっすりでした。



本日の行動記録

ヒサゴ沼避難小屋05:08 日本庭園06:48 ロックガーデン07:25 トムラウシ山8:41 トムラウシ公園10:04 前トム平11:00 コマドリ沢出合11:46 カムイ天上13:22 短縮登山口14:19

歩行時間: 9時間11分、歩行距離: 16.95km

最高点の標高: 2138m、最低点の標高: 956m

累積標高(上り): 1131m、累積標高(下り): 1864m

3日間で一番長く歩いた日でした。

※今回は旭岳登山口からトムラウシ短縮登山口まで自動車(レンタカー)の回送(25,000円)を利用しました。

7/25 十勝岳ピストン

今日は単純なピストンなので荷物もウェアも軽くして走らないけどザックもトレラン用、シューズもトレラン用でなんちゃってトレランスタイル、荷物が軽いのは正義です。

7時に吹上温泉スタート、最初の30分ぐらいは樹林帯の中で既に気温も高く風もないので暑さがきつかった。

そこを過ぎて泥流分岐まで行くと火山特有の地質で殆ど植生もなく当然高山植物もほとんど咲いていない。

登山道はスコリアや軽石のような感じ。アップダウンもほとんどなくひたすら山頂に向けて歩いていきますが日陰もなく気温も上昇していて暑くてへばりそうになり、大きな岩陰で休んだり途中の避難小屋でへばったりしながら歩みを進めます。

昭和噴火口までくると周りが噴火口の播鉢状の地形になってきて火山の凄さが体感できます。

奥の方に見えるのが十勝岳

その播鉢のへりを歩き続けてやっと山頂



若干霞んでいて遠くの山々は不明瞭だが美瑛岳は綺麗に見えた。

少し休憩して下山開始、登ってきたルートをはたすら下る。

13時過ぎ下山完了し吹上温泉で汗を流す。

本日の行動記録

吹上温泉白銀荘06:58 十勝岳避難小屋08:12 昭和火口09:07 十勝岳10:32 昭和火口11:36 十
勝岳避難小屋12:05 吹上温泉白銀荘13:18
歩行時間: 6時間18分、歩行距離: 13.95km
最高点の標高: 2075m、最低点の標高: 1014m
累積標高(上り): 1311m、累積標高(下り): 1313m